

上善若水

題字 上善若水 揮毫 内子町立天神小校長 中本 克也 解説は3面



発行所
◎(公財)愛媛県教育会
〒790-8545
松山市祝谷町1丁目5-33
エスポワール愛媛文教会館内
電話 (089)945-8644
FAX (089)945-1459
E-mail info@ehime-kyoukukai.jp

- (2) 学校紹介 久万小学校
- (3) ふるさとに生きる
- (4) 特集「心に残る先生子ども学校」
- (5) 第73回全国英語教育研究大会愛媛大会を終えて
- (6) ふるさとスケッチ
- (7) ローカールトピックス
- (8)



松山市立番町小学校
元校長 清水 慶子

つながって支えられ、そして今が

今年度も残すところ1か月となり、学校現場の方々は、この1年のまとめの時期、多忙な毎日を送っておられることと思います。

私も6回目の年女を迎えた今、定年退職を控えた12年前の3月を思い出しています。教員生活38年の間には延べ27、000人余りの子どもたちと出会い、その後ろにいる保護者や地域の人、共にがんばった同僚とのつながりは今もいろいろな形で続いています。私は、年度末になると受け持った子どもたちに、私宛に作文を書いてもらっていました。新採の年の作文を読み返してみると、私はよく笑い、よく怒り、元気なあいさつをする宿題好きの newItem 教員だったよう。50年近く経った今、その時の子らは、頼もしい教員に、定期的にうれしいパンを届けてくれるお父さんに、夢をかなえて図書館司書にと、それぞれが自分の道を見つけて人生を歩んでいます。もちろん再会できない子らもいますが、そろそろ60歳になろうとしている今、それぞれの場所ががんばっているにちがいません。

私自身のこれまでを振り返ってみると、教員としての力量を伸ばすために授

業づくりの基礎を教えていた。先輩からは「大丈夫だよ。心配ない。」「できることから始めよう。」と励まされ、それが自分を信じていくことにつながりました。教頭の在り様を鍛えていた。だいたいの校長先生からは、「心から子どもたち一人一人を人として大切に、心を込めて、いつでもどこでも声かけが温かい気持ちで仲良くなれることだと実感しました。また、学級経営や学校経営で共にがんばった仲間には、今も様々な形で助けられています。社会人としてのこれまでの50年、つながって支えられ、そして私の今があるのです。ここ数年は、季節の花を種から育て、友人や近所の人と一緒に花作りを楽しんだり、同級生を誘って地域の高齢クラブに登録し、活動を始めています。登校時に会おう子どもたちとのわずかな時間のやり取りも楽しみのひとつです。私にとっては、ゆっくりと流れる日常ですが、学校現場の皆さんにとってはめくりと次年度への準備と最も多忙でゆとりのない時期。この様な時こそ、新しい出会いを心待ちにしている子どもたちが前を向いて歩いて行けるよう、関わって、支え合い、それが自信を持って4月を迎えることができるようにと願っています。

昭和50年4月 松山市立清水小学校 新採
(しみず・けいこ)
※以後
小田町立(内子町立) 参川小
松山市立堀江小、番町小、道後小
菊岡町立(今治市立) 亀岡小
松山市立双葉小 教員
松山市立番町小学校 定年退職
平成25年3月 松山市立番町小学校 定年退職
平成28年10月 愛媛県教育委員会教育委員(二期)

聞 び 響

新型コロナウイルス感染症の分類が5類に移行して約10か月、人々の心身への健康志向は以前にも増して高まってきている。特に運動に対する意識の高揚は、様々な局面で見受けられる。▼次期教育振興基本計画では、子どもの体力を昭和60年代の水準まで引き上げることを指標に掲げている。愛媛県でも、同様の目標が掲げられている。その頃と比較すると、社会情勢の大幅な変化に伴い、運動環境、特に運動遊びの環境が激変している。▼スクリーンタイムの激増、外遊び・群れ遊びの崩壊、歩行機会の減少、運動離れの急激な進行：いずれも社会の急激な変化への適応が生んだ深刻な問題である。▼令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果では、体力合計点はコロナ以前の水準に至っていないが、回復傾向が見られる。しかし、子どもの体育授業以外の運動時間は減少傾向が続いており、昭和60年代の子どもの体力水準には程遠いのが現状である。▼年間に大きな被害のあった能登半島地震。被災された方々に謹んでご冥福とお見舞いを申し上げたい。今後、南海トラフ地震がいつ発生してもおかしくない状況を鑑みると、老若男女を問わず、可能な限り災害に耐えうる体力、精神力を身に付けておく必要を感じる。そのためには、日常の備えとして、非常持ち出し品や備蓄品等の準備に加え、日頃より心身の健康増進に努めたい。

ひとこと

人生



愛媛県特別支援学級・通級指導教室設置学校長協会 会長 安永 元生

日々大事にしていることが、「はい」と「ありがとう」と涙です。「はい」と「ありがとう」がとうございます」は、気持ちを表す最も優れた言葉であり、最も美しい言葉だと思います。そして、心を動かした涙を日々大切にしながら、一度きりの人生に勇敢に立ち向かう人は、すごく輝いています。

私たちは、常に人間関係の中で生きています。その人間関係を紡ぐのが、やはり挨拶です。挨拶は、「自分の心」で「相手の心」を読み取ることを意味しています。つまり、挨拶とは、人と人が交流する『すべ』なのだと思えます。そして、好感を持たれる日常の挨拶とは、「おはようござ

います」「こんにちは」……といった挨拶に添える『愛顔』だと感じます。

人が二粒の涙を流しているように見える漢字が「心」。その心という漢字に、ぶれない一本の線が勢いよく入ると、「必ず」という字になります。そして、「愛」という漢字は、心がど真ん中にあり、それを受けるという字に見えます。やはり、『愛顔』は最高で、人を幸せにします。幸せは、人が他者といっしょに何かをやり合うこと。自分だけの物語ではなく、みんなの物語とも絡み合っていること、幸せを感じる事ができると思えます。

「当たり前前」の反対語は「ありがたい」。つまり、「ありがたい」です。ですから、常に感謝の気持ちを持ち、今自分ができることをしっかりとやるといふ気概を大切に、かわいい生徒たちと一緒に一日一日を過ごしていきたいと思っています。人生は、「ありがとう」に気づく旅」です。

(松山市立津田中学校校長)

学校紹介

246

上浮穴高校との交流活動

本校は、全学年で上浮穴高校との交流活動を行っています。令和5年度は、次のような栽培活動をしました。

【1年生 サツマイモ】

1年生は、サツマイモ栽培をしました。6月に高校生と一緒に植えて、10月に収穫しました。収穫後、高校生と一緒に大学芋を作りました。

【2年生 トマト】

2年生は、高校のビニールハウスでトマト栽培をしました。収穫後はトマトソースを作り、ピザを焼きました。

久万高原町立久万小学校

【3年生 大豆】

3年生は、大豆を育てました。7月に播種、11月に収穫です。3学期は、高校生と一緒に豆腐を作る予定です。

【4年生 大根】

4年生は、9月に大根の播種、11月に収穫をしました。収穫した大根は、甘酢漬けにしました。

【5年生 米】

5年生は、米作りをしました。高校の田んぼで、田植えと稲刈りの体験をしました。収穫後は、おにぎりパーティーをして楽しみました。

【6年生 ジャガイモ】

6年生は、ジャガイモの栽培をしました。収穫したジャガイモを使って、ベイクトポテトを作りました。

上浮穴高校の生徒たちは、森林環境科で学んでおり、小学生に農業について教えることで、より知識や技能が身に付くそうです。小学生にとっては、マンツーマンに近い形で教えてもらえるため学習効果が高く、交流を通じて、農作物や食への興味関心を高めることにつながっています。

これらの活動は、小学生と高校生の双方にメリットがあります。今後も地域に根ざした教育を行っていくために、交流活動を継続していきたいと考えています。

(校長 寺岡 続樹)



題字に寄せて

上善若水



内子町立天神小学校 校長 中本 克也

「老子」8章からの出典です。老子は、最上の善を水に例え、水は万物に恵みを施すが、万物と争うことはなく、また人の嫌がる低い所に寄ろうとすることを挙げています。

本校では、今年度から愛媛県特色ある道徳教育推進事業（2年間）の指定を受け、研究に取り組んでいます。「考え、議論する道徳」の授業を展開するとともに、たくさんの人や物、事との関わりの中で、相手の痛みや思いに寄りそう力、自己を見つめる力の育成に努めています。

今後ますます複雑化する世の中を、子どもたちが他者と関わりながらよりよく生きる事ができるよう、道徳教育の推進に力を注いでいきたいと思えます。

ふるさとに生きる

いつも笑顔で前向きに



高橋 篤世 先生

高橋篤世先生は、旧川之江市の出身で、ご結婚後は香川県大野原町から四国中央市の小学校へ通われました。

平成18年、金生第一小学校校長を最後にご退職されましたが、その後も多方面でご活躍されていると聞き、ご自宅を訪問させていただきました。

60代 ボランティア活動に励んだ先生は、平成19年民生児

童委員になり、高齢者等の相談に乗りながら活動されました。

更生保護女性会にも入り、平成26年度からは会長として、非行を生まない地域づくりに積極的に取り組まれました。更生施設の訪問や高齢者施設の皆さんとの交流、子育て支援、清掃奉仕等、ボランティア活動に重点をおいて活動したそうです。

大野原音頭の保存活動

訪問者 宮内 則人 (四国中央教育会OB)

No.124

動にもご尽力されました。「民生委員の取組で地元を知り、更生保護女性会の活動で大野原町を知ることができた。会長になって市全体の様子が分かり、厚生労働省や法務省のことも学べた。良い経験ができた10年間だった。」と先生は振り返ります。

70代になって始めたこと 先生は、70歳になってからも前向きな姿勢で新しいことに取り組まれました。一つ目は、7年前葉膳マ

イスターの資格を取得し、料理講習会を開催したことです。先生の髪は今も真っ黒です。

二つ目は、オカリナの練習を始め、海辺や森、神社の境内等で演奏会をしてきたことです。メンバーは4人から8人に増えました。現在、老人大学での演奏に向け、練習中です。

三つ目は、令和元年度から4年間観音寺市文化協会会長を務め、社会教育委員としても活躍されたことです。西讃地区市町の皆さんとの交流が今も続いています。



○そしてこれから

昨年で全ての役職を終え、今は「大地の恵みに感謝」しながら野菜作りを中心にした日々を楽しんでいます。ご近所から、「これ植えてみたら」と野菜の苗が届くこともあります。できた野菜をもらってくれる人がたくさんいるのが励みになるそうです。

先生は、これまでの活動から生まれた多くの人のつながりの中、いつも笑顔で前向きに、そしてお元気に過ごされています。

高橋 篤世 先生(78歳)

(香川県観音寺市在住)

文教俳句

一俳句ポストより

緒酒を啜り昭和の話など
咲くもよし散るもまたよし白茶梅
寒朝や無言一列登校児
女生徒の笑顔イケメン新教師
紅葉寺埒へ急ぐ鶯の群れ
釣人の並ぶ岬や小六月

東温市 戒能 多喜
東温市 戒能 多喜
伊予市 東 正三
伊予市 東 正三
松山市 池田 容子
松山市 池田 容子

特集 心に残る先生・子ども・学校

子どもたちの笑顔に

支えられて



今治市立南中
教諭
西田ゆかり

私は、見知らぬ土地で教員として働くことに不安と期待を抱いていた。初出勤の日の緊張感は今でもよく覚えていて。あれから約1年、多くの出会いがあった。

私は、学級担任と部活動の顧問を務めている。部活動は未経験の競技ということで、指導ができるのかどうか不安に感じたのを覚えている。そんな私の不安とは反対に、子どもたちは明るい笑顔で「西田先生」と呼んでくれた。その表情に元気をもらえた。今でも子どもたちの笑顔は宝物だ。その中でも、特に印象に残っている笑顔がある。それは、授業終わりの時のことだ。普段手を挙げない子どもがその授業で自信満々に手を挙げ、答えた時があった。授業終わり、その子どもが、「先生、私、今日の授業で発表

できたよ。分かって楽しかった。」とうれしそうに話してくれた。その笑顔に私もうれしくなった。私は、子どもたちが「分かる」ことに喜びを感じられる授業をしたい、と思い教師となった。その思いがこれからも実現できるよう、日々の教材研究を大切にしていきたい。南中学校での教員生活は、毎日がとても充実している。困った時に親身に相談に乗ってくださる先生方の存在、そして、何事にも一生懸命に取り組む子どもたちの存在が私の大きな支えだ。4月に抱えていた不安は消え、子どもたちと日々学べるのが楽しくて仕方ないと思うようになった。子どもたちとの出会いには感謝し、これからの教員生活により一層邁進したい。

心に残る先生



松山市教育会
OB
永井登志道

私にとって、一番思い出に残っ

ている先生は、勝山中学校一年の学級担任です。結婚式に唯一「恩師」として出席していただきました。「中一の担任生徒の式に呼ばれたのは初めてだ。」と言っていました。

中一当時の教室は、校舎が古く近々取り壊すとのことでした。先生は技術の担当ということもあり、教室を少し改造したりしていました。教室にはカバンを入れる棚が無く、授業中は指定の布製肩掛けカバンを机に帯のようにかけていたため、机間指導の時などに度々ずり落ちていました。そこで、先生は教室の後ろに吊るして全員のカバンを掛けるようにしました。職員会でも問題になったみたいですが、学年終了までそのままでした。

卒業して先生の家に伺った時には、学校に連れて行かれ、セメントと砂を混ぜ水でこねて、技術室の欠けた階段の修繕を手伝ったこともありました。

先生は、校長の時に現職で亡くなられました。新聞で訃報を知りましたが、当時は越智郡の離島勤務でしたので、お葬式には参列できませんでした。松山に帰省した時にご自宅に伺い、仏壇にお線香をあげて、お墓の場所をお伺いしました。その際に、奥様から先生が亡くなる前に書いてあった年賀状とお盆にはお墓参りをし、線香とビールをお供えしています。

畳・ふすま張替えのご案内

愛媛県学校生活協同組合連合会では、(株)ライフネットと提携店契約を結んでおります。

面倒な畳替え、ふすまの張り替えなどのご用命はお気軽に学校生活協までご相談ください



お問い合わせは
愛媛県学校生活協同組合連合会
電話 (089) 925-0555
または 都市学校生活協同組合

足跡をつづる、私を記す、形に残す。
あなたが主人公のドラマを未来に伝えませんか

「本」づくり応援

プロのスタッフが校正作業をサポートします!
プロのデザイナーがデザイン力を発揮します!

- 規格・装丁のご提案
- 編集方針のご提案
- レイアウト見本のご提示
- 原稿作りのアドバイス
- 予算のお見積り
- その他、ご相談承ります。

印刷営業部 TEL.089-945-0112 FAX.089-947-6073

SEKI セキ株式会社

- 自 分 史
- 作 品 集
- 研 究 報 告
- 記 念 誌
- 業 績 集
- 旬 集
- エッセイ集
- 写 真 集

TEL.089-945-0111
TEL.03-3577-1230
www.seki.co.jp

私が尊敬する先輩教師



小田原市長 英樹
立部町立 坪内
砥部校

私が最も尊敬する先輩教師は、私が20代の頃に勤めた学校の教頭先生です。

教頭先生は、その学校に長年勤め、子どもや教師はもちろん、地域の人たちからも厚く信頼されていらつしやいました。教頭先生の授業はいつも楽しくて、子どもが笑顔になりました。それだけでなく、指導意図の筋が通った奥深さを感じるものでした。常に子どもたちとのコミュニケーションに意識を向け、休み時間などにも積極的に子どもたちと接しておられました。生意気ですが、教頭先生が信頼された一番の理由は、そのお人柄にあると思います。駆け出しの私のような者にも、気さくに声を掛けてくださり、話を聞いてくださいました。

着任時3月末に、山奥の林道に迷いながら何とかたどり着くことができた学校の職員室の扉をノックして開けたとき、教頭先生がこちらを振り向き「坪内先生ですか？ 遠い所、よく来たね。」と笑顔で迎えていただいた光景は今でもはつきりと覚えています。私がこれまで、子どもや同僚、保護者や地域の方と接する際の話や伊予弁での話し口調などは、意識して又は無意識のうちに、教頭先生のそれを真似してきたように思います。管理職となり、特に意識しているのは、自校の先生方との信頼関係の構築です。教頭先生のような先輩教師になれるよう、日々自分を磨き続けていきたいと思っています。

I先生の思い出



八幡浜教育会OB
高田 宗典

国語の新規採用教員として八幡

浜市の中学校に赴任したときの話である。大学を卒業したばかりの私は、俗にいう「ミミズがはうような」文字を黒板に書いていた。そして、そのことを、当時の私は気にも留めないでいた。それを見かねた教務主任のI先生に、私は呼び出された。I先生は中学時代の恩師で、美しい板書を書かれる国語の先生だった。「君の板書を見せられる生徒はいい迷惑だ。」厳しい言葉だった。I先生はうなだれた私を引っっぱって、夜の教室に連れていかれた。板書訓練の始まりである。先生は、私に文字を書かせ、どのように書けばよいのか手本を示された。さらに上手に書くためのアドバイスをしていただいた。放課後の訓練は、先生が合格を出すまで何日も続けられた。「文字の下に、マス目が見えるようになるまで書きなさい。」I先生からいただいたこのアドバイスは、40年間、私の心に刻まれ続けた。そして、いい加減な文字を書こうとする私に、警鐘を鳴らし続けてくれた。再任用講師として今も教壇に立たせていただいているが、まれに生徒が私の板書を褒めてくれることがある。「ありがたう。」と返ししながら、私はI先生との夜の板書訓練を思い出している。IT機器の普及により、板書の機会は少なくなつた。けれど、時には整った文字を黒板に書いて生徒に見せることも、大切なことだと私は思っている。

応募短歌・川柳・自由律俳句

— 短歌 —
今は亡き母と参りし 遍路道想い出重ねて同行三人
「スエゴザサ」その名やさしく記されて風にそよげる一帯の笹
この暑さいつまで続くかと空見上げ雨は降らぬと庭に水打つ
— 川柳 —
— 自由律俳句 —
夢心地力士の横でVサイン
復興の確かな歩み青田風
つかの間の満開見せて散る木蓮

- | | |
|------|-------|
| 新居浜市 | 眞鍋 慶子 |
| 愛南町 | 前田 充 |
| 松山市 | 野尻 精一 |
| 西予市 | 渡邊美恵子 |
| 西予市 | 渡邊美恵子 |
| 松山市 | 野尻 精一 |
| 松山市 | 野尻 精一 |

- ★ えひめの先生方によって 建てられた会館です。
- ★ 会議・研修・宿泊にご利用ください。

エスポワール
愛媛文教会館



TEL (089) 945-8644
FAX (089) 932-0380

愛媛県教育会の 積立年金制度

豊かな老後のための備えとして、準備をはじめませんか？

※制度内容等の詳細は、パンフレットをご参照ください。
公益財団法人 愛媛県教育会
電話 089-945-2511
MY-CF-23-386-804835-240112-1

第73回全国英語教育研究大会(愛媛大会) 兼 第45回四国英語教育研究大会(愛媛大会)を終えて

はじめに

令和5年11月24日(金)、25日(土)に、松山市民会館、愛媛大学城北キャンパスを会場に、第73回全国英語教育研究大会(愛媛大会)(以下、全英連愛媛大会)、また、第45回四国英語教育研究大会(愛媛大会)を兼ねて開催した。4年ぶりの対面式で行い、県内及び全国各地から約800名の参加があった。

大会主題は「愛顔つながる英語教育の実現」グローバルな視点を持ったアクティブ・ラーナーの育成〜小学校段階から高等学校卒業段階までを見通した学習と指導の系統性に加え、英語の授業における深い学びを実現するための主体性と協働性の在り方を考えることを目的とした。

記念講演

1日目の午前中に全国英語研究団体連合会(以下全英連)総会を行い、その後、文教大学大学院教育学研究科、金森強教授を講師としてお迎えし、「令和の日本型教育における英語教育の在り方」期待と課題」を演題に記念講演を行った。

金森教授には、本大会の1年前



研修(令和4年11月開催)の講師として、また、愛教研外国語委員会主催の外国語教育研修会(令和5年7月開催)にも講師としてご来県いただき、ご尽力をいただきました。おかげさまで、本大会に向けての愛媛の大会実行委員や英語教員の大会への気運を高めるとともに、テーマに対する理解を深めることができた。

当日の講演においては、「令和の日本型教育における英語教育の在り方」について、「自らが学びの主体となることが大切であり、未来を予測し、企画、行動する力、取組のプロセスを俯瞰して省察する力や責任を持ってやり抜く力を育

成する必要がある。」と話された。また、「本当の英語力を育てるためには、言語活動やタスク活動においては、コミュニケーション能力や問題解決能力、創造性や表現力、グローバルな視野や異文化理解等が含まれる内容になっていてほしい。」と話された。そして、「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な実施がなされなければ、人を育てる教育にはならない。」とも話されていた。

講演会全体でペアワークを随所に織り込みながら楽しく、分かりやすくご指導いただき、参加者は研修を深めることができた。

授業実演

授業実演については、感染症対策として児童・生徒の安全・安心を確保するために、ビデオでの発表とした。授業のみをビデオで見せるのではなく、授業後の児童生徒の感想等を編集するなど工夫を凝らし、ビデオのよさを生かした発表を目指した。これまでの全英連大会では見られなかった新たな取組として、一石を投じることができたのではないかと考えている。

小学校授業実演

松山市立福音小学校 第5学年
授業者 井上 仁司 教諭
テーマ コミュニケーションの

よさや楽しさが実感できる外国語学習



児童が理想とする「20年後の福音タウン」の魅力が伝わるように道案内をしようという課題を設定し、ALTの指導も得ながら、道案内の活動が展開された。小学校ならではの豊かな発想が生かされ、コミュニケーションの楽しさやよさを児童が体感できる活動が行われた。授業の中では、スモールトークや中間指導、そしてグループによる交流が適切に行われており、児童は相手意識や目的意識を持ち、自分の思いや考えが相手に伝わるように工夫しようとする姿が随所に見られた。振り返りタイムの児童の感想からは、児童が自分の本当の考えや気持ちを伝え合い、心を通い合わせることが楽しさを実感していることが確認できた。

中学校授業実演

砥部町立砥部中学校 第3学年

授業者 折本 崇教諭

テーマ 生徒のコミュニケーション

シヨン能力を育む領域統合型
言語活動の実践と教材との対
話を引き出すリテラチャー・
サークルを通して

英語の読み物教材を通して、生徒が戦争の悲劇や核兵器による被爆体験国としての平和への願いを理解し、戦争の回避や平和の重要性について自分の考えをグループで伝え合う活動が展開された。主体的・対話的で深い学びを実現するために、この授業ではリテラチャー・サークル(英文を読み、4人程度のグループで話し合い活動を行う協働学習)という指導方法を用いていた。生徒たちは、非常に高いレベルの発話力で英語のコミュニケーションを行っており、この指導方法に一貫して取り組んできた成果をかいま見ることができた。また、ALITのエイドリアン先生の英語による問い返しも生徒の力量を見極めたものとなっており、普段から生徒が安心して英語に取り組める土壌がしっかり確

立できていた。授業のまとめではグループで話し合ったことを学級全体で共有し、互いの考えを認め合い、英語で思いや考えを伝え合うことの充実感・達成感を生徒は感じることができていた。

高等学校授業実演

愛媛県立松山北高等学校

第2学年

授業者 濱松久美子教諭

テーマ コミュニケーションへの

「身近にひそむジェンダーバイアスとその解消に向けた取組」が本単元の課題であった。本時では、ジェンダーバイアスとその解消に向けて、自分たちにできることについて、具体的な事象を取り上げ、英語を通して考えを深めていく授業内容であった。生徒たちはペアになり、身近なジェンダーバイアスについてプレゼンテーションにまとめた。その後、ICITを活用して台湾の高校生とこれまで培ってきた英語力を駆使して意見交換を行った。それぞれのペアは自分たちが取り上げたジェンダーバイアスについて英語で発表し合い、その課題と解消法について話し合った。台湾の高校生はノンネイティブスピーカーカード

あり、学んできた英語を媒体に意見交換することで、松山北高校の生徒だけでなく、交流相手の生徒も国際補助語としての英語の有用性、必要性を実感することができおり、両校の生徒にとって自己肯定感が高まる貴重な経験となっていた。

分科会

大会2日目に会場を愛媛大学城北キャンパスに移し、分科会を行った。前半と後半の2部構成と



し、愛媛県の発表者が20名、四国の他の3県から6名、計26本(授業実演の分科会も含む)の分科会を開催した。それぞれの分科会には、全国から大学教授等を指導助言者として配置させていた。どの分科会もレベルの高い実践事例を公開し、発表者、指導助言者との協議を通して、参加者全員が研修を深めることができた。

終わりに

全英連愛媛大会の実行委員会は2年前から準備を進めてきたが、感染症対策を考慮しながらの準備を余儀なくされ、順調とは言い難い準備期間となった。しかしながら、本大会に携わっていただいた全ての方々の知恵と心遣いと行動力で、無事に大会を終了することができた。授業実演や分科会の発表では、着実に研究を積み上げた実践を惜しみなく公開していただいたことで、全国各地の参加者と共に学び合える貴重な機会となった。長い期間、準備に関わっていたいただいた実行委員の皆様をはじめ、大会開催を最後までご支援いただきました関係各位に心から感謝を申し上げます。

祝 受章おめでとうございます

◇瑞宝双光章(高齢者叙勲)

- 楠 聰様 88歳 元宇和町立中川小学校校長 西予市
- 土居 泰正様 88歳 元大洲市立新谷小学校校長 大洲市
- 西尾 俊二様 88歳 元大洲市立喜多小学校校長 大洲市
- 参川 正満様 88歳 元宇和島市立宇和津小学校校長 宇和島市

お知らせ

2月号6面「第51回愛媛県教育会俳句募集入選句」において、佳作 大きな樹大きな木陰夏休み 橋本 佳史 は、大きな木大きな木陰夏休み 宇多喜代子 の先行句(先に詠んだ句)がありますので、入選を取り消いたします。

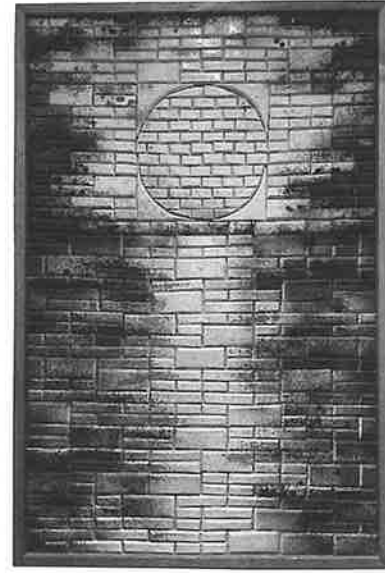
ふるさとスケッチ No.474

夕日



新中雄立市山松 教諭 森 貴世 眞

色を使うこと、運転することが好きな私は、伊方町にある祖母の家に向かう時に意識して通る道があります。愛媛県の形が駆けていく犬のように見え、ピンと伸びた背筋に



線の高さで平穏な海原が広がり、その隣を駆け抜ける爽快感が最大の魅力です。オレンジ色の温かみのある色には、何かしら緊張をほぐし、優しく落ち着いた開放感を与えてくれる心理的な効果があります。空と

海に広がる夕日の色に心を打たれ、油絵と焼き物を専攻していた私は、タイルを作り色をのせていく陶板画の作品を制作しました。今やゆっくりと眺めに行く時間はないですが、仕事帰りに車から夕日が見えると、そのオレンジ色に少しホッとする自分がいます。夕日の効果をうまく生活に取り入れ、エネルギーにかえていけたらと意識する日々です。

ローカル。ピックス

とうどさん

「とうどさん」は、愛媛県の東予地域で続いているお正月行事です。年末から、各地域では、稲を集めて「とうどさん」を作ります。大きさは各地域によって異なりますが、西条では5〜7メートルくらいの高さのものが多いのではないかと思います。お正月が過ぎたこ



ろ、各地域の人たちが集まってしめ縄かざりを燃やし、その年の無病息災を祈るのだそうです。今年は、1月14日に燃やしたところが多かったのではないのでしょうか。東予地域では、昔からずっと続くこの行事ですが、ここ数年は新型コロナウイルス感染症の予防のため、中止になる地域も多かったようです。今年は、大勢の人が集まって、しめ縄飾りとともにお餅を焼き



ながら「とうどさん」を燃やしたことでしよう。(愛媛文教月報編集協力委員 杉野 学)

ご冥福をお祈りします

藤岡 一夫様	97歳	東温市樋口六三	5.1.7
内田 敏子様	84歳	新居浜市中筋町二〇九	5.12.23
岡原 紀子様	86歳	宇和島市保手一三七	5.12.26
井上 勉様	100歳	伊予市森三三	5.28.28
鼻崎 教様	82歳	宇和島市吉田町鶴間新三三	6.5.5
濱田 正雄様	73歳	南宇和郡愛南町御荘平山六八	6.1.6
岩元 孝元様	90歳	南宇和郡愛南町御荘平城八〇一	6.1.12
清水 岩門様	93歳	南宇和郡愛南町久良一七四一	6.24.12

エスポワール愛媛文教会館の 春 弁 当

エスポワール愛媛文教会館の1階「お食事処はづき」より『春弁当』のご準備ができました！
期間3月1日～4月10日

お弁当 1,500円



オードブル 2,000円～



※ 写真はイメージです。ご予算に応じて変更できます。
※ 配達についてはお問い合わせください。
エスポワール愛媛文教会館
TEL 089-945-8644 FAX 089-932-0380